

競技選手 廣井組の「今日まで、そして明日から」

競技選手として、いつの日か自分達の目標と決めたB級が、技術的にも限度と思い普段の練習、先生のレッスン、競技会への挑戦をしていました。

B級になって見ると、まだまだ納得の行くダンスが出来ていない事やパートナーとのグリップ一つでさえ満足に出来ない自分達に不満はあるものの、B級の壁は超えられないものだと思い込んでいました。

賢人の文章やトップアスリートが、「限界とは自分で勝手に作る物だ！」とメディアで発言しても、あれは特別な人だからな～と自分達にはピンと来ませんでした。

そんな二人を変えたのは、ある先生との出会いでした、
「レッスンは、チャレンジ 思いっきり好きなように思う通り動きなさい、
自分達のダンスを作りなさい、自分達で考えなさい、上手く行かなかつたら先生が直してあげる。」
それからは、毎日 自分達で作ったダンスの壁を壊してゆく練習の日々が
始まりました。



気が付くと心の中にB級の壁は無くなっていました。

練習して、実感して、体をケアして、少しだけ進歩、この繰り返しの先にスタンダードA級への昇級がありました。

振り返ると、自分達のダンスってB級までは、鶏に例えると殻に守られた卵、そして今の自分達は頭に殻が乗っているA級ヒヨコです。

こんな大きな卵が、競技会場でゴロゴロしていたのだから 今迄本当に他の選手に迷惑をかけていたと思います。（来年からはもっと迷惑をおかけしますが・・・）

これからは、鶏冠や立派な羽や美しい尾羽、大きな体をした本物のA級鶏を目指し、音楽を全身で感じながらダンスを表現できるようになるまでチャレンジして行こうと思います。

それには先ず、ポスターの習得から もう一度 振り出しに戻ってゼロから再出発です。ヒヨコはヒヨコらしく 二人でダンスを楽しみたいと思います。

